

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【公開番号】特開2012-199756(P2012-199756A)

【公開日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2012-042

【出願番号】特願2011-62230(P2011-62230)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/24 (2006.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 5/225 F

G 0 3 B 17/24

G 0 3 B 15/00 U

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月19日(2014.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

携帯機器であって、
位置データを検出するよう構成されたレシーバと、
画像データを捕捉するよう構成された画像捕捉装置と、
前記位置データが予め設定した位置の近傍を示していることに応じて前記位置データを
情報に変換し、

前記情報を前記画像データと関連付け、前記位置データが前記予め設定した位置の近傍
を示していないことに応じて、前記位置データの精度を変えることなく前記画像データと
関連付けて前記位置データが記憶される

よう構成されたプロセッサと

を備え、

前記位置データは経緯度データを含み、

前記情報は、前記位置データ全てでないが前記位置データの少なくとも一部分を含み、
削除された部分を置き換えることなく、前記位置データの少なくとも一部分を削除するこ
とを特徴とする携帯機器。

【請求項 2】

請求項 1 記載の携帯機器において、

前記予め設定した位置は、ユーザの自宅であることを特徴とする携帯機器。

【請求項 3】

請求項 2 記載の携帯機器において、前記プロセッサは、内蔵電池が充電されている位置
を前記自宅として設定するよう更に構成されることを特徴とする携帯機器。

【請求項 4】

請求項 2 記載の携帯機器において、前記プロセッサは、所定時間以上滞在している位置

を前記自宅として設定するよう更に構成されることを特徴とする携帯機器。

【請求項 5】

請求項 2 記載の携帯機器において、前記情報は、前記経緯度データに誤差を加えることによって生成されたデータに対応することを特徴とする携帯機器。

【請求項 6】

請求項 1 記載の携帯機器において、前記情報は、前記データの前記少なくとも一部分を削除していることに加え、自宅を意味するテキストデータを含むことを特徴とする携帯機器。

【請求項 7】

請求項 1 記載の携帯機器において、前記位置データが前記予め設定した位置の近傍を示しているか否かの判定は、前記位置データが前記予め設定した位置からの一定距離の範囲内に収まる位置を示しているか否かに応じて行われ、前記一定距離は、前記位置データによって表される地域に応じて増減調整されることを特徴とする携帯機器。

【請求項 8】

請求項 1 記載の携帯機器において、前記情報は、前記位置データに不可逆に戻されることを特徴とする携帯機器。

【請求項 9】

方法であって、

位置データを検出する工程と、

画像データを捕捉する工程と、

前記位置データが予め設定した位置の近傍を示していることに応じて前記位置データを情報にプロセッサを使用して変換する工程と、

前記情報を前記画像データと前記プロセッサを使用して関連付ける工程であって、前記位置データが前記予め設定した位置の近傍を示していないことに応じて、前記位置データの精度を変えることなく前記画像データと関連付けて前記位置データが記憶される工程とを含み、

前記位置データは経緯度データを含み、

前記情報は、前記位置データ全てでないが前記位置データの少なくとも一部分を含み、削除された部分を置き換えることなく、前記位置データの少なくとも一部分を削除することを特徴とする方法。

【請求項 10】

請求項 9 記載の方法において、前記予め設定した位置は、ユーザの自宅であることを特徴とする方法。

【請求項 11】

請求項 10 記載の方法において、内蔵電池が充電されている位置を前記自宅として設定する工程を更に含むことを特徴とする方法。

【請求項 12】

請求項 10 記載の方法において、所定時間以上滞在している位置を前記自宅として設定する工程を更に含むことを特徴とする方法。

【請求項 13】

請求項 10 記載の方法において、前記情報は、前記データの前記少なくとも一部分を削除することに加えて、前記経緯度データに誤差を加えることによって生成されたデータに対応することを特徴とする方法。

【請求項 14】

請求項 9 記載の方法において、前記情報は、前記データの前記少なくとも一部分を削除していることに加え、自宅を意味するテキストデータを含むことを特徴とする方法。

【請求項 15】

請求項 9 記載の方法において、前記位置データが前記予め設定した位置の近傍を示しているか否かの判定は、前記位置データが前記予め設定した位置からの一定距離の範囲内に収まる位置を示しているか否かに応じて行われ、前記一定距離は、前記位置データによ

て表される地域に応じて増減調整されることを特徴とする方法。

【請求項 16】

請求項 9 記載の方法において、前記情報は、前記位置データに不可逆に戻されることを特徴とする方法。

【請求項 17】

命令を記憶させた、一時的でないコンピュータ読み取り可能な媒体であって、前記命令は、

位置データを検出するための命令と、

画像データを捕捉するための命令と、

前記位置データが予め設定した位置の近傍を示していることに応じて前記位置データを情報に変換するための命令と、

前記情報を前記画像データと関連付けるための命令と

を含み、前記位置データが前記予め設定した位置の近傍を示していないことに応じて、前記位置データの精度を変えことなく前記画像データと関連付けて前記位置データが記憶され、

前記位置データは経緯度データを含み、

前記情報は、前記位置データ全てでないが前記位置データの少なくとも一部分を含み、削除された部分を置き換えることなく、前記位置データの少なくとも一部分を削除することを特徴とする一時的でないコンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 18】

請求項 17 記載の一時的でないコンピュータ読み取り可能な媒体において、

前記予め設定した位置は、ユーザの自宅であることを特徴とする一時的でないコンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 19】

請求項 1 記載の携帯機器において、前記情報は、arc秒以下に関する経緯度データを削除することによって生成されたデータに対応することを特徴とする携帯機器。

【請求項 20】

請求項 5 記載の携帯機器において、前記誤差は、所定の値、及び前記経緯度データに基づくことを特徴とする携帯機器。